

## 合流式下水道の改善について

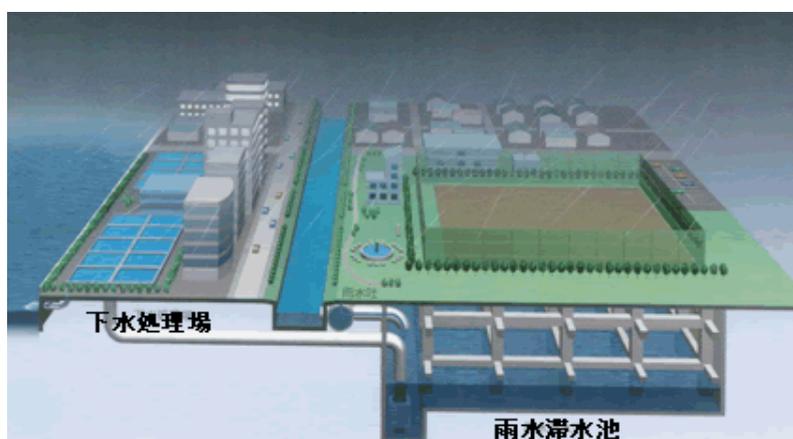
早くから整備された下水道では、汚水と雨水を同じ管きよで排除（合流式下水道）するため、管きよの途中に設置されている雨水吐けから雨天時に一定の水量を超えた場合、汚水が未処理のまま直接河川等に放流されている。

このような合流式下水道を改善するため、降り始めに一時的に貯留し後で処理する貯留設備の設置、夾雑物の流出防止のためのスクリーンの設置等を進める。

### 合流式下水道改善の例（国土交通省ホームページより）

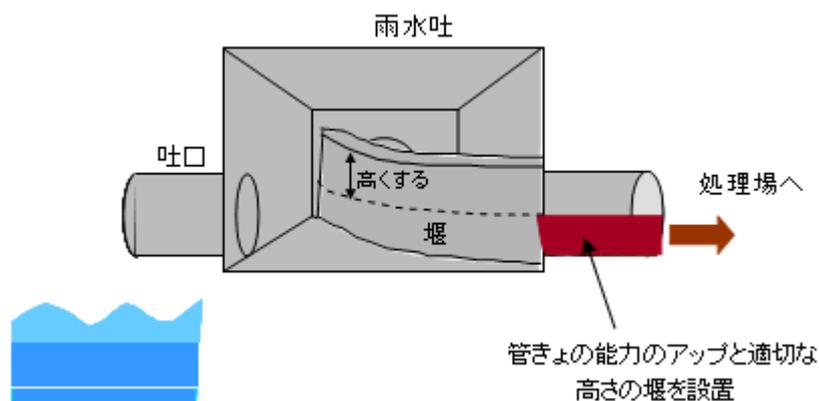
#### 1 雨水貯留施設の設置

下水を一時的に貯めて後で処理する方法



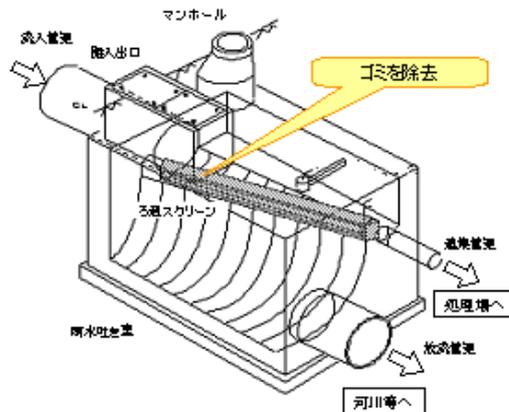
#### 2 下水管の能力アップと雨水吐の堰高の改良

適切な高さの堰を設置し、処理場へ送る下水量を増やす方法



### 3 スクリーンの設置

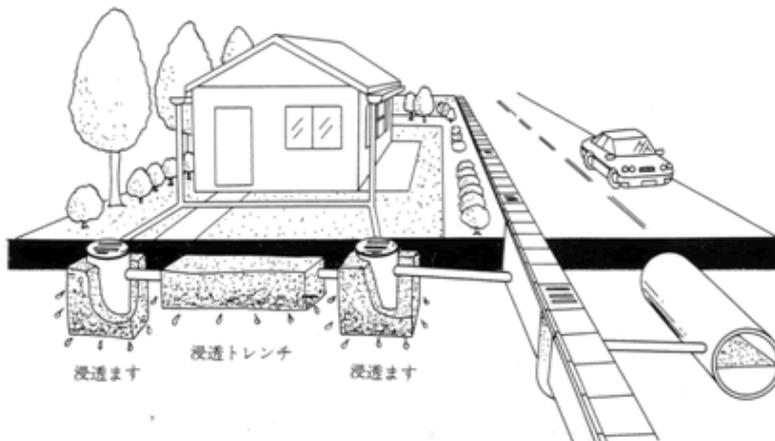
下水中のゴミを取り除き、流出させない方法



### 4 雨水の浸透

雨水を下水道に入れない方法

ます等の側面や底面に浸透のための孔をつけたもので、雨水はます等の側面や底面から地中へ浸透することにより、流出する雨水が削減される。



これら雨水浸透施設の設置について工事費の一部を補助する自治体もある。

また、下水道の整備により不要になった浄化槽を雨水貯留用に改造したり、新たに雨水貯留槽を設置することに対し、工事費の一部を補助する市町村もある。